



やました ゆうと
山下 悠斗さん
(7歳・三里木北)

- 将来の夢
飼育員
- 得意なこと
クイズを考えること
- 今一番行きたいところ
いろんな水族館に行きたい
- 1年2組の友達に伝えたいこと
ずっと元気でいてね

菊陽人 りさーち



掲載を希望する人は、はがきか電子メールに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192 菊陽町役場総合政策課 sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



やまもと まさや
山本 将矢さん
(7歳・三里木北)

- 将来の夢
水泳選手
- 自慢できること
人を笑わせること
- 今一番やりたいこと
海に行って泳ぎたい
- 1年2組のみんなに伝えたいこと
いつも遊んでくれてありがとう

ゆ た かな 心 を は ぐ く む

人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.72】

※作者の学年は前年度の在籍学年となります。
◇印からの文章は先生のコメントです。
◆人権啓発標語 「『苦手だな』そう思うのは知らないから たくさん話して 良いところ知ろう」 菊陽南小学校 6年 荒川 理央

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎(232)2113

こつこつやり続けること
から逃げないこと

菊陽北小学校 4年
原田 翔輝



▲ぼくの決心

ぼくは今、このくらいいいやと思ったり、あと少しでやっちゃえと言ったり、まったりする自分に負けてしまったり、自分に負けないようになりたいです。
ぼくは前に人をいじめたり仲間はずれにしたりして、いじめはいじめないと思いませんでした。でもいじめていたら自分でもすっきりしないでいじめられる人もすっきりしないからいじめはぜったいにしないと決めました。
ぼくはいたる君がとってもすごいと思います。わけは、いたる君もぼくをかわいと思っていたけど、4年生になってぼくが他人の悪口を言っていたら、いたる君が「悪口を言ったらだめだよ」と教えてくれました。ぼくは教えてもらってとてもうれしかったです。悪いときは悪いと注意してくれるから、とってもうれしです。
ぼくは、これから人に文句を言わないで、まわりの人から怖がられない行動を

菊陽句会報

きくよう文芸

早春の出動照らす春の月 母愛でし水仙膨らむ忌明けかな 寒椿うすれし記憶たどる母 汐先に春の光の見えはじむ 絵手紙に貰ふ福豆一杯 苗木植う赤子抱く日に思ひ馳せ 電線に音符のごとく寒すずめ 春の月うつりて澄める涼 火山灰降るや籬の草も枯極む 狭庭にも日ざし届きて芽吹くもの 噴煙猛る夕映えたるを寒しとも	井 子文 財津 早雪 原野レイ子 力 幸子 寺尾千代子 高橋 孝子 堀川 妙子 福田 貴子 佐藤 節 吉野 早苗 井上久美子	暦のみとは云え嬉し春はそこ 風すさぶ名のみ春を嘆きつつ 豚汁の炊き出しもあり寒稽古 初場所や見入る我が身のつい動き さみどりの蕾華やぐ梅日和 梅一朶映す湖水の風甘く 裏山は人遠ざけて深眠り マスクせる通学生に混む列車 塾生の雪と乗り込む豊肥線 テスト前テレビで気付く春一番 大寒の水湧く神社御くじ結ぶ	宮川ユキエ 日高 妙子 曾我 育代 曾我トモ子 紫藤 祥子 村上 朋子 藤本 純子 吉田 幸子 木村 信子 佐藤 健 佐藤 澄世
---	--	--	--

短歌会

朝日射す切り株並ぶ前の田に霧立ち昇り地を這い流る
グムの木は四方交互に葉を広げ針葉まつすぐ天をめざして
少しだけ赤く熱れ初む大玉のトマトの下葉に病斑を見ぬ
いち早く春は来しかと掌にはほの香る露の曇あり
冬庭に餌を求めて飛ぶ鳥は花の蕾を散らしてゆきぬ
棘持ちし木瓜の花芽に色動き春待つ吾のこころ弾みぬ
外露地に席入りの時を待ちわびる手焙りの火の恋しき夜は
菜を洗ふ寒き寄り来る庭の辺に遠く聞こゆる鬼やらひの声
暁の明らむ空に燃え尽きて流るる星は一瞬なりき

今村 貞子
上野 陽子
梅田 國雄
河北 幸一
佐藤せい子
中村トシエ
松岡富紀子
山川 カヅ
松本 東亜

とって、このくらいいいやと思っただけで、あと少しでやっちゃえと思っただけで全部直していいと思いません。決心します。
◇友達に強い態度を取っていた自分に気付いて、「悪いことは悪いと注意してくれるとうれしい」とすっきりした顔で言える友達とのつながりができています。

「ほんとうの友だち」を
学習して

菊陽中部小学校 3年
山本 一輝



▲ほんとうの友だち

「ほんとうの友だち」の学習をして、ぼくたちのクラスでは「ほんとうの友だち」って何だろう、ということを考えました。ぼくは、ほんとうの友だちはもやもやしていることを相談できる人なので

はないかと思いましたが、もやもやしていることを相談できる友だちがいると、安心できるし、ほっとします。
そんな友だちをたくさん作るために、クラスのみんなで目を合わせて、見つめ合いっこをしました。目があったら、相手もにっこり笑ってくれたし、ぼくも笑顔になってうれしい気持ちになりました。だからぼくたちは、これからだれにでももやもやしていることを相談できる仲のいいクラスになりたいと思います。

「リスペクトアゲーズ」

身近な友達や家族など互いの良いところを認め合うこと、それが「リスペクト」です。相手の人権を尊重することです。相手を認め尊敬することが、人権を尊重することにつながります。
友達や家族など、身近な人に「大事に思っているよ。ちゃんと認めているよ」という気持ちを伝えていきますか。自分が大事に存在だということに気が付けば、他の人(アゲーズ)も大事な存在だということが想像できます。
そのような一人一人のつながりの積み重ねが平和な世界をつくることにつながっていくのではないのでしょうか。